

# 第46回二輪車安全運転三重県大会 競技マニュアル



一般財団法人三重県交通安全協会

## 目 次

|                 |                |      |
|-----------------|----------------|------|
| 目次              | ・・・・・・・・・・・・・・ | 2    |
| 競技上の注意事項        | ・・・・・・・・・・・・・・ | 3    |
| 競 技 方 法         | ・・・・・・・・・・・・・・ | 4    |
| 法規履行走行の採点基準     | ・・・・・・・・・・・・・・ | 5    |
| 技能走行の採点基準       | ・・・・・・・・・・・・・・ | 6    |
| 技能走行コースの課題と採点基準 | ・・・・・・・・・・・・・・ | 7～9  |
| 競技コース図          | ・・・・・・・・・・・・・・ | 別添資料 |

## 競技上の注意事項

### 1 大会の円滑な進行と事故防止について御協力ください。

- ① 開会式終了後は、大会係員が誘導するので、選手全員が法規履行コースのスタート地点前に各クラス別のゼッケン番号順に並んで集合してください。

大会係員の指示に従って1班の選手は、各選手が持ち込んだ車両とともに、指定された場所に速やかに移動してください。

- ② コース案内等（法規履行コースの試走及び技能コースの徒歩確認）について

1班の選手は、大会係員の先導により技能走行コースを徒歩で確認します。

2班の選手は、大会係員の先導で法規履行走行コースの試走を行います。

各選手は、競技中にコース誤りがないよう、各コースをよく確認して競技に臨んでください。

- ③ 競技について

競技は、下表の2班に分けて実施します。

また、ゼッケン番号順に競技を実施するので、選手は大会係員の指示に従ってください。

(案)

| 班   | クラス別                 | 前 半     | 後 半     |
|-----|----------------------|---------|---------|
| 1 班 | 若年者クラス 女性クラス 大型二輪クラス | 技 能 走 行 | 法規履行走行  |
| 2 班 | 普通二輪クラス              | 法規履行走行  | 技 能 走 行 |

※ 尚、各クラスの参加人数によって、班分けが上記の通りではない場合があります。

当日、係員の指示を確認して下さい。

- ④ 選手は、大会の趣旨をよく理解し、競技中は、常に正確な法規履行と運転操作によって、安全かつ円滑な走行に努めるとともに、コース外での試走や危険行為は厳に慎んでください。なお、自傷及び加害行為は、当事者の責任としますので御承知ください。

- ⑤ 競技者のゼッケン番号が出場者名簿と異なるなど、その他公正を疑われる行為が認められた場合は失格とし、直ちに競技を中止します。

### 2 競技要領・採点

- ① コース内は、全て車道とみなし、設置の標識・標示は有効なものとしします。

- ② 再スタート、競技のやり直しは認めません。

車両故障が発生した場合は直ちに車両を停止し、手を挙げるなどして審判員に申し出てください。審判員の協議による指示に従ってください。

- ③ 採点は減点方式で行います。審判に対する不服申し立ては認めません。

- ④ 技能走行の基準タイムは、

○ コンビネーションスラローム・・・当日発表

○ 一本橋走行・・・当日発表

とします。

- ⑤ 千鳥走行において、設定ラインの上を通過した場合は、コースアウトとします。

- ⑥ 停止位置は前輪先端を基準とします。

- ⑦ 競技中のギア位置は自由とします。

- ⑧ 改造車両による競技は認めません。ただし、技能走行競技中のバックミラーの取り外しは認めます。

※ ただし、法規履行走行競技時は、必ずバックミラーを取り付ける事とします。

### 3 その他

- ① 競技者及び関係者以外の方のコース内への立ち入りは禁止します。

絶対に立ち入らないようにしてください。

- ② 競技時の服装は、手袋、靴、長袖上着を着用するほか、ヘルメットのあご紐の緩み等、受傷事故防止に配慮していただくとともに、審判員の指示に従ってください。

- ③ 昼食等はゼッケンを付けた状態で、名前を申告して受け取ってください。

ペットボトル等ゴミは所定の場所に片付けてください。

- ④ ゼッケンは閉会式終了まで着用してください。

# 競 技 方 法

## 1 競技内容

### (1) 法規履行走行

法規履行コースにおいて、法規の履行状況を採点します。

### (2) 技能走行

○ 技能走行コースに設けた千鳥走行、コンビネーションスラローム、一本橋について採点します。

○ 1課題、1トライ制とします。

※ 天候等の状況により競技内容を変更することがあります。

## 2 競技の進行

法規履行走行及び技能走行における3つの課題を次の順序で行います。

|     |         | 課題及び技能走行競技の順序     |                   |
|-----|---------|-------------------|-------------------|
| 1 班 | 若年者クラス  | 1 コンビネーションスラローム   | 2 千鳥走行(若年・女性クラス用) |
|     | 女性クラス   | 3 一本橋走行           | 4 法規履行走行          |
|     | 大型二輪クラス | 1 千鳥走行(普二・大二クラス用) | 2 コンビネーションスラローム   |
|     |         | 3 一本橋走行           | 4 法規履行走行          |
| 2 班 | 普通二輪クラス | 1 法規履行走行          | 2 千鳥走行(普二・大二クラス用) |
|     |         | 3 コンビネーションスラローム   | 4 一本橋走行           |

※ 尚、各クラスの参加人数によって、班分けが上記の通りではない場合があります。  
当日、係員の指示を確認して下さい。

## 3 配 点

| 競 技 科 目 | 持 ち 点     |
|---------|-----------|
| 法規履行走行  | 5 0 0 点   |
| 技 能 走 行 | 5 0 0 点   |
| 計       | 1 0 0 0 点 |

## 4 成績順位

各選手の得点は、持ち点の1000点から、採点基準に従って減点した点数を差し引いた残りの点数とし、その得点の高い選手を上位とします。

ただし、得点が同点数の場合は、次の順序により順位を決定します。

(1) 法規履行走行の得点が高い選手。

(2) これによっても順位がつかない場合は、コンビネーションスラロームの所要タイムが速い選手を上位とします。

## 5 その他

転倒等が原因で車両に故障や破損等トラブルが生じた場合は、速やかに審判員等に申し出て下さい。

## 法規履行走行の採点基準

法規履行走行が行われるコースで、法規履行の能力、とりわけ一時停止、進路変更、合図、右左折等を採点します。

〔採点基準〕

| 減点 500     | 減点 100   | 減点 50  | 減点 30  | 減点 15  |
|------------|--|--|--|--|
| 転倒<br>指示違反 | 脱輪<br>一時不停止<br>踏切不停止<br>右側通行<br>信号無視<br>進行妨害<br>歩行者保護<br>(不停止) | 安全不確認<br>交差点変更不適<br>優先判断不適<br>徐行不履行<br>側方間隔不適<br>右足ささえ<br>コース誤り<br>発進枠側線踏み<br>停止枠外停止 | 合図しない<br>右左折方法不適<br>アクセルむら<br>急ハンドル<br>ふらつき<br>(バランス)<br>駐停車方法不適 | 合図(戻し・不適)<br>安全装置<br>(ミラ・スタンド)<br>乗車姿勢不適<br>エンスト<br>発進手間取り<br>速度維持不適<br>停止位置不適 |

(注) ここに定める採点基準は、競技会の主旨と運営に沿って作成したもので、運転免許試験における技能試験とは異なります。

- ・転倒（立ち転け含む）：発進枠に入り停止枠を出るまでに転倒があった場合、当該競技を最大減点とする。
- ・指示違反：安全運転大会の選手として相応しくないと2名以上の審判員が認めた場合並びに、審判員の指示に従わない場合、当該競技を最大減点とする。
- ・発進枠側線踏み：発進時に発進枠の側線を踏んだ（前輪又は後輪の接地面）場合、減点50とする。
- ・停止枠外停止：前輪の先端が停止枠を越えた、車輪の接地面が側線を踏んだ、前輪の先端が停止枠に入っていない場合、減点50とする。

# 技能走行の採点基準

## [共通項目]

### 1 指示違反

- (1) 発進時に発進枠の側線を踏んだ。（前輪又は後輪の接地面）
- (2) 停止時、停止枠外停止
  - 前…前輪の先端が停止枠を超えた。
  - 横…車輪の接地面が側線に触れた。
  - 後…前輪の先端が停止枠に入っていない。
- (3) 審判員の指示に従わない。

### 2 安全不確認

- 右後方を目視で確認しない。
- 安全確認後発進を中断したにもかかわらず、再発進時に確認しない。
- 停止位置からの再発進時に確認しない。

### 3 発進手間取り

審判のスタート指示に対して速やかに（3秒程度）スタートしない。

### 4 両足ばなれ

走行中両足がステップから離れた。

### 5 足つき

車両が動いている状態で左右いずれかの足をついた。

### 6 片足ばなれ

走行中、左右いずれかの足がステップから離れた。

（ただし、停止位置から2メートル以内の左足ばなれは除く。）

### 7 右足ささえ

発進時、停止時に右足又は両足着地した。

### 8 エンスト

発進時又は走行中にエンストした。

## 技能走行コースの課題と採点基準

○ 三つの技能走行コースの課題について採点します。

### 1 千鳥走行

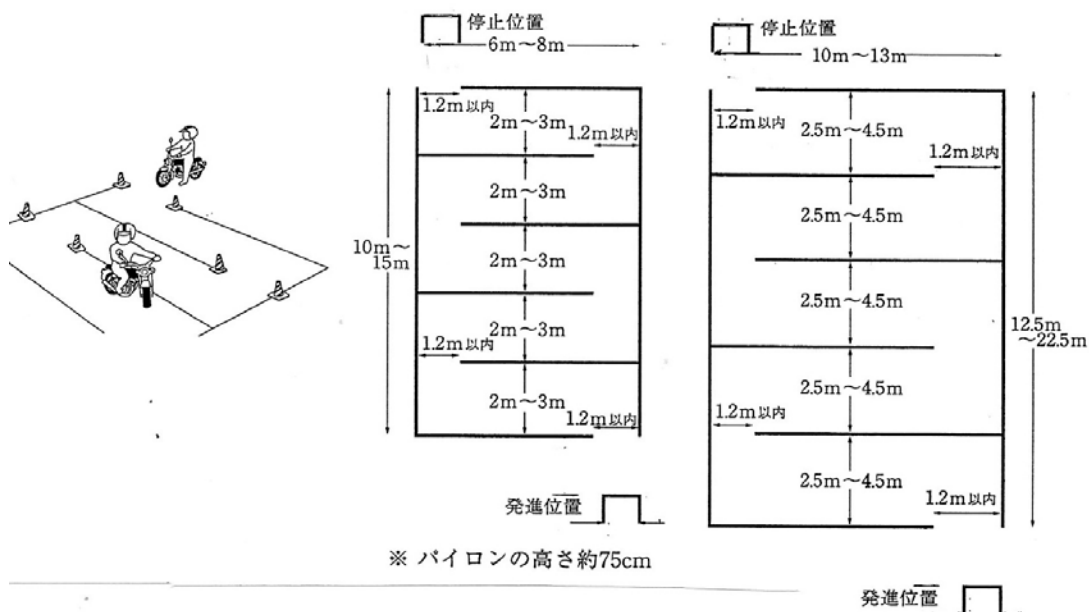
|      |   |     |               |     |
|------|---|-----|---------------|-----|
| ねらい  | 随所にゲートがあり傾斜角が制限された狭小コースを安全かつ的確に通過できる「バランス」運転技能向上をねらいに設けられた課題です。   |     |               |     |
| 走り方  | 1 発進位置において正しい姿勢で停止し、審判員の合図で後方の安全を確認し発進する。発進後の立座、着座、中腰等の姿勢は自由とする。<br>2 課題の入口から出口までの間に設けられたパイロン、マーカー（テープ）などに接触しないように走行する。<br>3 適切な傾斜角と内輪差を考慮しながら通過する。<br>4 停止位置で停止し、審判員のチェックを受け指示に従う。 |     |               |     |
| 採点基準 | 項 目   | 減 点 | 項 目           | 減 点 |
|      | コースアウト  | 4 0 | 両足ばなれ         | 1 0 |
|      | 転倒  | 4 0 | 足つき（1回につき）    | 1 0 |
|      | 指示違反  | 4 0 | パイロン接触(1本につき) | 1 0 |
|      | 安全不確認   | 2 0 | 片足ばなれ         | 5   |
|      | 足ささえ（1回につき）   | 2 0 | 右足ささえ         | 5   |
|      | 発進手間取り  | 1 0 | エンスト（1回につき）   | 5   |
|      | タイヤ以外の車体接地(1回につき)   | 1 0 |               |     |

(注) ・ コース図は例示である。

・ 最大減点は40点とする。

・ 足ささえ…車両が停止した状態で足でささえた場合をいう。

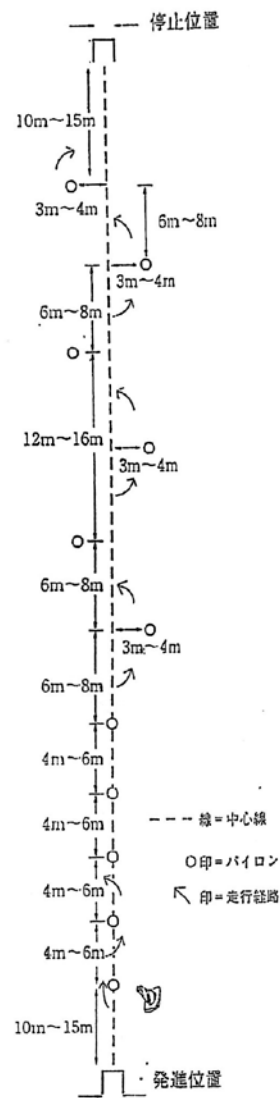
・ 指示違反…足ささえから走行ライン修正の為に車体をバックさせたときを含む。



## 2 コンビネーションスラローム

|      |   |     |
|------|---|-----|
| ねらい  | 連続する障害物のコースを正しい運転姿勢で安全かつ円滑に操縦できる、「曲がる」運転技能向上をねらいに設けられた課題です。   |     |
| 走り方  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 発進位置において正しい姿勢で停止し、審判員の合図で後方の安全を確認し、審判員に指示された進路より進む。</li> <li>2 パイロンを通過するときは、接触しない最小限の傾斜でゆるやかな弧をえがき通過する。</li> <li>3 停止位置で停止し、審判員のチェックを受け指示に従う。</li> <li>4 目標の取り方の例 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 最初の障害物(パイロン)の確認</li> <li>(2) 前方の障害物(2~3本先)の確認</li> <li>(3) 再び直前の障害物を確認</li> </ol> </li> </ol> |     |
| 採点基準 | 項   | 目   |
|      | 転倒  | 減 点 |
|      | 指示違反  | 4 0 |
|      | 安全不確認   | 2 0 |
|      | 発進手間取り  | 1 0 |
|      | 姿勢（足、膝、腰など）   | 1 0 |
|      | タイヤ以外の車体接地(1回につき)   | 1 0 |
|      | 両足ばなれ   | 1 0 |
|      | 足つき（1回につき）  | 1 0 |
|      | 車輪ロック（前輪のみ）   | 1 0 |
|      | パイロン接触(1本につき)   | 1 0 |
|      | 片足ばなれ   | 5   |
|      | 右足ささえ   | 5   |
|      | エンスト（1回につき）   | 5   |
|      | 基準タイムを超え1秒ごとに   | 5   |

### <コース図例>



(注)・タイムの測定は、審判員が発進合図をしたときから停止を指示した地点に前輪が入り停止するまでとする。

- (注)・コース図は例示である。
- ・ 最大減点は40点とする。
  - ・ 基準タイムは試走によって、各クラスごとに決定する。
  - ・ 指示違反…矢印の進入方向に従わない場合を含む。

### 3 一本橋走行

|      |   |     |                   |     |
|------|---|-----|-------------------|-----|
| ねらい  | 限られた幅員のコースを低速で安定して走行できる、低速走行時の「バランス」運転技能向上をねらいに設けられた課題です。   |     |                   |     |
| 走り方  | 1 発進位置において正しい姿勢で停止し、審判員の合図で後方の安全を確認し発進する。運転姿勢は着座姿勢とする。<br>2 車輪が一本橋に乗ったら、半クラッチ等を使いながら安定よくめらかに走行する。<br>3 速度が出すぎたときは、後輪ブレーキで調整する。<br>4 バランスは全身とハンドル操作でコントロールする。<br>5 視点は一点に置かず、一本橋上を前方、手前と移動させる。<br>6 停止位置で停止し、審判員のチェックを受け指示に従う。 |     |                   |     |
| 採点基準 | 項 目   | 減 点 | 項 目               | 減点  |
|      | 足つき   | 4 0 | 両足ばなれ             | 1 0 |
|      | 脱輪  | 4 0 | 片足ばなれ             | 5   |
|      | 転倒  | 4 0 | 右足ささえ             | 5   |
|      | 指示違反  | 4 0 | エンスト（1回につき）       | 5   |
|      | 安全不確認   | 2 0 | 基準タイムに達しない場合1秒ごとに | 5   |
|      | 発進手間取り  | 1 0 |                   |     |

- (注) ・ コース図は例示である。
- ・ 最大減点は40点とする
  - ・ 指示違反…着座姿勢をしないなどを含む。

